

## 第24回浜名湖をめぐる研究者の会

日 時 2015年12月5日 14:00～(受付開始13:00)

開催場所 東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所(静岡県浜松市西区舞阪町弁天島2971-4)

### 発表プログラム

1. 浜名湖の袋網で漁獲された魚類 水野直樹(東大水実)
2. 佐鳴湖の最近おさかな事情 姿を消すかハクレン/初めて調査確認、チワラスポ  
(「さなるこ新聞」電子版掲載) 井上正男(佐鳴湖シジミプロジェクト協議会)
3. 佐治良雄 佐治良雄
4. 梅田川のヤマトシジミの生息状況 野田賢司(矢作川環境技術研究会)
5. 霞ヶ浦と潤沼と佐鳴湖 吉田啓俊(浜松市環境保全課)
6. アマモ場の消失と回復に伴う魚類群集の変化 青山光(東大院農)
7. 浜名湖内の潮汐応答に外洋の潮汐変化と黒潮が及ぼす影響  
有田守(金沢工業大学)・岡辺拓巳(豊橋技術科学大学)
8. 夏季の浜名湖における湖心部深層海水の移動と水質への影響  
内山道春(静岡県環境衛生科学研究所)
9. 佐鳴湖にリンが多いのはなぜか、その原因について 第2報 永坂榛菜(浜松大平台高校)
10. 水質指標CODの汽水湖での妥当性 小川竜平・戸田三津夫(静大院工)
11. 繰り返し使える界面活性剤の開発  
宮川菜々江(静大院工)・加藤玄基(静大工)・戸田三津夫(静大院工)
12. 鉄電極電解による溶存リン酸除去  
水口涼太(静大工)・萩原彩華・石塚達也・奥原大輔・戸田三津夫(静大院工)
13. 栄養段階決定を目的とするイオン交換樹脂を用いたフェニルアラニン分解  
松本晴貴(静大工)・戸田三津夫(静大院工)
14. 栄養段階決定を目的とする $\beta$ -シクロデキストリンを用いたフェニルアラニン抽出  
児玉光樹・戸田三津夫(静大院工)
15. 佐久間でのアワビ陸上養殖  
青島優也(静大工)・北嶋秀明・和田光弘・山本展也・鈴木鐵也・戸田三津夫(静大院工)
16. 佐久間ダムをどうする 戸田三津夫(静大院工)
17. 生態水文学研究所と水産実験所とのコラボレーションによる全学体験ゼミナール  
「ダムと土砂と海」の内容紹介  
蔵治光一郎(東大生態水文)・菊池潔(東大水実)・田中延亮・井上淳・高橋功一(東大生態水文)
18. 放射能汚染のため池に棲むコイの健康状態 鈴木讓(東京大学)
19. アメリカ合衆国のマハゼはどこ出身か?分子系統地理学でせまる 平瀬祥太郎(東大水実)
20. エラムシはなぜトラフグを好むのか?-感染のしくみを探る-  
松永亮平・高梨志保里・細谷将・菊池潔・田角聡志(東大水実)
21. フグの棘の平行進化について ギム ドンイン・細谷将・田角聡志・菊池潔(東大水実)

浜名湖をめぐる研究者の会 第24回ワークショップ開催のお知らせ

2015年10月

各位殿

拝啓、秋も深まってきましたが、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

「浜名湖をめぐる研究者の会」は、浜名湖と周辺地域の様々な研究情報の交流の場として、毎年12月に東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所で開催されてきました。例年この会には大学の研究者だけでなく、自治体、民間の研究機関、高校の生物・科学部、在野の研究者など様々な方が参加しています。そして発表は自然環境、環境を演出する生物、さらには人間活動を含めた地理的なものまで、バラエティーに富んだ内容となっています。例年のように活発な会となるよう、大勢の皆様の参加を期待しております。なお、参考までに昨年度のプログラムを同封いたしました。

「浜名湖をめぐる研究者の会第24回ワークショップ」の実施要領を別紙のとおり決めましたので、ご案内申し上げます。参加・発表の申し込みは郵送、Fax、またはメールで、11月20日までに事務局宛にお願いします。

敬具

浜名湖をめぐる研究者の会 事務局

〒431-0214

静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 2971-4

東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所  
准教授

菊池 潔

Tel : 053-592-2821

Fax : 053-592-2822

<http://www.se.a.u-tokyo.ac.jp/japanese.html>

浜名湖をめぐる研究者の会 第24回ワークショップ

日時： 2015年12月5日（土曜日）14時～17時頃まで  
17時30分から、簡単な懇親会(参加費1000円+持込大歓迎)を予定しています。

場所： 東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所  
研究棟1F学生実習室（ポスター掲示と口頭発表）

受付： 2015年12月5日 13時から

参加申し込み：郵送、Fax、またはメールで、**11月20日まで**にお願いします。

申し込み先：〒431-0214 静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 2971-4  
東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所 事務局 宛  
Fax：053-592-2822  
E-mail：[ayuka@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:ayuka@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)

申し込み方法：お名前、所属、ご住所（連絡先）、発表の有無、発表がある場合にはそのタイトル、  
宿泊の希望の有無などについてお知らせ下さい。郵送、Fax の場合には4枚目の用紙  
をご利用下さい。

発表形式：発表者は、ポスターの掲示と口頭発表を行います。要旨集用の原稿と口頭発表用のス  
ライド（USBメモリー）は、当日、受付に提出してください。  
発表時間は3分でお願いします。

講演要旨：講演要旨の形式は特に定めていませんが、大きさはA4版、ページ数は4ページ以内  
として下さい。講演要旨は後日、印刷・製本の上、ワークショップ参加者に配布しま  
す。内容はポスターそのままでも結構ですが、オフセットモノクロ印刷のため、  
カラー原稿の色は反映されません。

- 研究発表要項 -

1. ポスターの掲示

12月5日14時までに、定められたパネルにポスターを掲示して下さい。ポスターは翌日事務局が撤去しますが、持ち帰りたい掲示物は5日中に発表者の手で撤去して下さい。ポスターの内容と形式は自由ですが、次のことを御考慮下さい。パネルの大きさは800×1200mm、下地はコルクボードです。パネル左上に発表番号(100×70mm)がはってありますので、定められた番号のパネルを使ってください。発表番号が見えるように掲示をお願いします。

2. 口頭発表

口頭発表は12月5日14時より始めます。(口頭発表の前にポスターの掲示を必ず終わらせてください。)発表時間は3分だけですので、研究の概要の紹介にとどめてください。口頭発表の間では質疑はありません。発表用のスライドはマイクロソフトパワーポイントで作成して下さい。パワーポイントファイルを入れたUSBメモリーは、各自、水産実験所までご持参下さい。スライドを使用しないで発表を希望される方は、事前に事務局にご連絡ください。

3. 質疑、討論

口頭発表終了後、ただちにポスター掲示前で行います。それぞれのポスター前で意見交換を行ってください。

浜名湖をめぐる研究者の会 第24回ワークショップ参加申し込み

氏名

所属

住所（連絡先：変更があった場合や、現在の送付先住所が間違っている場合、  
お願いします）

電話

Fax

E-mail アドレス

発表の有無

発表希望 （ 有り 無し ）

発表題目・発表者氏名・所属（連名での発表の場合は全員の氏名所属）

懇親会参加の有無 （ 有り 無し ）

参加の場合 出席人数 人

宿泊の希望 （ 有り 無し ）

月 日 から 月 日 まで

宿泊者人数 人

申し込み頂きましたお名前、ご住所等の個人情報は、当事務局において厳重に管理するとともに、浜名湖をめぐる研究者の会に関するご案内に使用させていただきます。

裏面に昨年度のプログラムがあります。

第23回浜名湖をめぐる研究者の会プログラム

2014年12月6日

1. 福江湾の今と昔 佐治良雄
2. 山川里海健康診断 山本茂雄 (アジアの浅瀬と干潟を守る会)
3. 佐鳴湖の潜水調査報告 都市と湖 井上正男 (佐鳴湖シジミプロジェクト協議会)
4. 佐鳴湖の塩水化に伴う生物相の変化<予報> 藤森文臣 (佐鳴湖環境調査会)
5. アマモ場の消失と回復に伴う魚類群集の変化 青山光 (東大院農)
6. 浜名湖今切口での流況観測について  
岡辺拓巳 (豊橋技術科学大学)・内山道春・後藤裕康 (静岡県環境衛生科学研究所)
7. 佐久間ダムの堆砂を急いで片づけるには? 戸田三津夫 (静岡大院工)
8.  $\beta$ -シクロデキストリンを用いたアミノ酸抽出  
児玉光樹 (静岡大院工)・植野僚 (静岡大工)・戸田三津夫 (静岡大院工)
9. 汽水湖に最適な有機汚濁指標を求めて 小川竜平 (静岡大工)・戸田三津夫 (静岡大院工)
10. 佐鳴湖に生息する極小細菌の単離および解析  
福田洗平 (静岡大創造科学技術院大)・久志本晃弥 (静岡大工)・新谷政己 (静岡大創造科学技術院大)
11. 佐鳴湖にリンが多いのはなぜか、その原因について 第1報 濱本彪 (浜松大平台高)
12. マツ材線虫病被害跡地における植栽実績  
井上淳・松井理生 (東大附属演習林生態水文学研究所)
13. 海と河をめぐる魚の秘密を探る-近縁フグの比較 伊藤洗太郎 (東大附属水産実験所)
14. 魚類の多様な性決定遺伝子について 家田梨櫻 (東大附属水産実験所)